



努力がいつながる瞬間

先週の木曜日に音楽朝会がありました。6年生は、口の開け方を手本として示したり、全校合唱での太鼓を担当している子ども達が練習の成果を披露したりと、これまで頑張ってきたことを堂々と披露する瞬間がありました。



棋士の羽生善治さんが「才能とは何かと問われれば、『続けることだ』と私は答えます。続けることなど誰にでもできると思うでしょうが、実はこれが最も難しいのです。」と本の中で書かれています。努力を続けた子どもたちの姿を見ていると、やはり堂々としていて、カッコいいと思わせてくれます。努力を続けること！いつかそのことが実を結ぶ！その瞬間を夢見て、努力を続けることをみんなに望みます。

音楽朝会後の、田中先生との音楽の授業でも、音楽コンクールの自由曲である「花」を1回みんなまで通すことができました。完成度としては、まだまだですが、努力を続けることで、必ずや実を結ぶ！そのことを夢見て、私達（長岡・鈴木）も努力を続けます。

音楽朝会後の、田中先生との音楽の授業でも、音楽コンクールの自由曲である「花」を1回みんなまで通すことができました。完成度としては、まだまだですが、努力を続けることで、必ずや実を結ぶ！そのことを夢見て、私達（長岡・鈴木）も努力を続けます。

生活実態調査の結果から

学級懇談会でも話題にしたいと考えていますが、7月に行った生活実態調査の中から、気になった点をお伝えします。6年生は

『就寝時刻』の項目に課題が見られ、10時以降に寝る児童が半数を超え、11時以降に就寝する児童が13人いるというアンケート結果になりました。習い事などの影響で学年があがるごとに、就寝時刻が遅くなる傾向はありますが、睡眠時間を6時間程度しか取らないと、学習に悪影響が生じるというデータもあります。ご家庭でも子ども達が早く寝られるよう声を掛けていただけたらと思います。

